

2020年度  
事業計画書

自 2020年4月1日  
至 2021年3月31日

公益財団法人日本フラッグフットボール協会はフラッグフットボールが持つ「個の尊重と共生」という優れた価値を広く社会に普及し、次世代を担う子供たちの『生きる力』を育てるとともに、家族や地域などの多種多様なコミュニティの創造と活性化を図り、社会の発展に寄与することを目的として、2020年度に以下の事業を行うものとする。

## 1：新学習指導要領施行に伴う教材のリニューアルと配布

新学習指導要領施行に伴い、フラッグフットボールの経験がない教員に向けた教材「小学校授業サポートガイド」の全面リニューアルを小学校教材会社と提携して行う。教材は、小学校教員および教育関係者へ無償にて提供する。提供数は5,000冊とする。

## 2：小学生向け副読本「作戦ブック」およびフラッグの製作と寄贈

授業を受ける小学生が、フラッグフットボールを理解しやすくすることをねらいとして、子ども用補助教材「作戦ブック」を製作し、小学校へ寄贈する。提供数は140,000冊とする。

また、寄贈校のうち、850校については作戦ブックに加えて、用具（フラッグ）を1クラス分同梱する。

当事業は（一財）日本宝くじ協会の助成を受けて実施する。

## 3：フラッグフットボール「作戦コンクール」の開催とリニューアル

日本全国の小学校で「子供たちがつくった作戦」を表彰する全国コンクールを開催し、運動で子どもたちを表彰する機会を創出する。

作戦ブックやノートを用いて応募できるなど、授業で用いる教材と連携した形でコンクールを開催できるようリニューアルを行う。

## 4：「甲子園ボウル」記念ボールの寄贈

アメリカンフットボールの大学日本一決定戦である「甲子園ボウル」とのタイアップ事業として、記念ボールを制作し小学校へ寄贈する。

当事業は、甲子園ボウル実行委員会の助成を受けて実施する。

## 5：コミュニティ創造やレクリエーションイベントの開催および協力

フラッグフットボールチャリティーマッチ「ハドルボウル」の開催、各地での「フラッグフットボール教室」の開催など、継続的なレクリエーションの機会の創出するイベントを企画し、主催、共催、後援、協力を行う。

自治体との拠点およびコミュニティづくり事業として、長野県上伊那郡南箕輪村にて全国交流イベントおよび大会を行う。

## **6：フラッグフットボール日本選手権大会の開催とリニューアル**

2020年度より、フラッグフットボールチーム日本選手権大会を、公益社団法人日本アメリカンフットボール協会と共同主催し開催する形に変更する。

2019年度まで実施しているNFLフラッグフットボール日本選手権大会の構造、運営体制、スポンサー等の見直しを行う。

大会WEBサイトのリニューアルを実施する。

## **7：公式規則委員会の開催**

公式規則委員会を開催し、2021年度の公式規則を制定する。

## **8：WEBサイトおよびSNSの運営**

WEBサイトのリニューアルを実施する。また、WEBサイトやSNSを中心にフラッグフットボールに関する申込やダウンロードのしやすさと共に、最新情報やニュースの発信を行う。

## **9：ワールドマスターズゲームズ2021関西のリハーサル大会の開催**

2021年5月に開催されるワールドマスターズゲームズ2021関西に、オープン競技としてフラッグフットボールが加わったことに伴い、リハーサル大会を開催する。

## **10：その他目的に資する事業**

その他フラッグフットボールが持つ教育的価値・社会的価値によって日本社会に貢献する活動について企画し、実行する。

※ 本事業計画書の制作物の名称、数量等は一部変更になる場合があります。

以上